

第8回 歯が抜けたまま放置すると

今回は、抜歯して何もしないで、そのまま放置した時に起きることに
ついて説明します。歯が修復不可能な状態になってしまった場合、残
念ながら抜歯になります。前歯は見た目の問題もあり抜いたままにす
る人はあまり見かけません。しかし奥歯の場合、他の歯で噛めるため
か、1本だけ抜いたままになっているケースを時々見かけます。「歯を
1本抜いたけれどそれほど不都合なく使える。」というのが一番多い理
由のようです。

一見そのままでも何の支障もないように思えますが、時間の経過と
共に後で苦労することもあるようです。抜歯した後、そのまま放置す
ると次のようなことが起きてきます。

- ① 噛合わせる相手がいない歯が伸びてくる（挺出）
上下で噛むことができなくなった歯が、抜いて無くなった相手方のス
ペースを埋めるように伸びてきます。これを挺出と言います。ひどい
ものだと歯が対合する部分の歯ぐきにぶつかるとまで挺出することもあ
ります。
- ② 両隣の歯が傾いてしまう
両隣の歯が、歯が無くなったスペースに倒れるように傾いていきます。
さらに傾いた歯と、その隣の歯との間に隙間ができるため、食べ物か
挟まりやすくなり虫歯や歯周病の原因になります。



③ ブリッジや入れ歯が作りにくくなる
歯を抜いて何年も経過してから、歯の無い部分にブリッジや入れ歯を
作るうとしてもスペースが不足してきれいに作れない場合があります。

④ 他の歯も痛みやすくなる

歯が一本少なくなれば、噛み合わせのバランスが悪くなり他の歯に余
分な力がかかるため、その分痛みやすくなります。

歯が抜けて放置するとうろいったことが起こります。進行の程度は
人により様々ですが、数年放置すればだいたい歯が移動してきます。
つまり、時間の経過とともに治療が困難になるのです。抜いたまま
でも問題ない場合もありますが、できれば歯科医院で確認することをお
勧めします。

湯沢市・雄勝郡
歯科医師会
ホームページ：
<http://www.yutopia.or.jp/~yoda/>

